



新機能および変更された機能に関する情報

- [Cisco DNA Center の新機能および変更されたに関する情報](#) (1 ページ)

Cisco DNA Center の新機能および変更されたに関する情報

次の表に、Cisco DNA Center 2.3.7.3 の新機能および変更された機能の概要と参照先を示します。

表 1: Cisco DNA Center 2.3.7.3 の新機能および変更された機能

| 機能 | 説明 |
|--|--|
| 2D および 3D ワイヤレスヒートマップのパフォーマンスの向上 | Cisco DNA Center は Cisco DNA Assurance を使用して、2D および 3D ワイヤレスヒートマップのパフォーマンスを向上させます。Cisco DNA Center では数秒以内に AP とヒートマップのデータが表示されます。 2D マップの操作 および 3D マップの操作 を参照してください。 |
| Cisco Connected Mobile Experiences (CMX) 統合の機能強化 | Cisco DNA Center では、CMX TLS/SSL 証明書の検証が実行されます。拡張 GUI には、CMX 証明書を確認およびインポートして、新規および既存の CMX 統合の信頼を確立するオプションが用意されています。Cisco DNA Center と CMX の間のサービスの中断を回避するには、Cisco DNA Center 2.3.7.3 アップグレードをインストールする前に、CMX SSL/TLS 証明書を設定し、Cisco DNA Center の信頼できる証明書に CMX 証明書をインポートします。アップグレード後、 [System] > [Settings] > [Cisco Spaces/CMX Servers] で CMX 接続ステータスを検証できます。 Cisco CMX 設定の作成 を参照してください。 |
| デバイスの構成ドリフト | ネットワークデバイス用にアーカイブされた最後の構成のタイムスタンプと、デバイスで実行された config-drift 検証のタイムスタンプを確認できます。 デバイスの構成ドリフト および デバイスの構成ドリフトの表示 を参照してください。 |

Cisco DNA Center の新機能および変更されたに関する情報

| 機能 | 説明 |
|----------------------------------|--|
| SWIM アップグレードワークフローにおける設定の制御のサポート | <p>設定変更の拡張制御を使用すると、計画されたソフトウェアイメージのアップグレードを承認のために ITSM に送信してから展開できます。</p> <p>ソフトウェアイメージのプロビジョニングおよびISSUを使用したソフトウェアイメージのアップグレードを参照してください。</p> |
| スイッチスタックからのスタックメンバーの削除 | <p>PnP ダッシュボードの [Delete Member] オプションを使用して、スイッチスタックからスタックメンバーを削除できます。</p> <p>デバイスの表示を参照してください。</p> |
| 2D ワイヤレスヒートマップのフロアインポート履歴 | <p>正常にインポートされた AP、インポートに失敗した AP、計画済み AP、オーバーレイオブジェクトのログなど、2D ワイヤレスヒートマップのフロアインポート履歴を表示できます。</p> <p>2D マップツールバーを参照してください。</p> |
| ワイヤレスメニューと設定のグローバル検索サポート | <p>Cisco DNA Center は、ワイヤレスネットワーク設定、モデル構成設計、およびワークフローのグローバル検索機能をサポートしています。</p> <p>グローバル検索の使用を参照してください。</p> |
| カスタムポリシータグの再利用 | <p>カスタムポリシータグは、サイト（エリア、建物、フロア）全体で再利用できます。</p> <p>ネットワークプロファイルへの AP グループ、Flex グループ、サイトタグ、およびポリシータグの追加を参照してください。</p> |

次の表に、Cisco DNA Center 2.3.7.0 の新機能および変更された機能の概要と参照先を示します。

表 2: Cisco DNA Center 2.3.7.0 の新機能および変更された機能

| 機能 | 説明 |
|-----------------------------|--|
| AP Join プロファイルの不正パラメータのサポート | <p>Cisco DNA Center は、次の不正パラメータをサポートしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Rogue detection minimum Received Signal Strength Indicator (RSSI) • Rogue detection transient interval • Rogue detection report interval • Protected Management Frame (PMF) denial <p>Cisco IOS XE デバイスの AP プロファイルの管理設定を行うを参照してください。</p> |

| 機能 | 説明 |
|--|---|
| PnP オンボーディングの AP の場所設定 | <p>PnP オンボーディングの AP の場所として、PnP 要求中に割り当てられたサイトを設定できます。</p> <p>プラグアンドプレイプロビジョニングの前提条件およびワイヤレスまたはセンサーデバイスのプロビジョニングを参照してください。</p> |
| AP プリイメージのダウンロードの進行状況 | <p>デバイスに関連付けられているすべての AP について、AP のプリイメージダウンロードタスクに関する詳細を表示できます。</p> <p>イメージ更新ステータスの表示を参照してください。</p> |
| アプリケーション Quality of Service (QoS) のサポート | <p>Cisco DNA Center では、デバイスがプロビジョニングされているサイトに QoS ポリシーを展開する場合、プラグアンドプレイまたはサイト割り当てを介してオンボードされた有線デバイスで、アプリケーション QoS ポリシーをデフォルトで有効にできます。</p> <p>アプリケーションポリシーの概要およびプラグアンドプレイ対応デバイスのプロビジョニングを参照してください。</p> |
| デバイスでのアプリケーション可視性とコントローラベースのアプリケーション認識 (CBAR) の有効化 | <p>Cisco DNA Center では、有線で検出されたデバイスと、プラグアンドプレイまたはサイト割り当てを介してオンボードされたデバイスで、アプリケーション可視性と CBAR をデフォルトで有効にできます。</p> <p>テレメトリを使用した Syslog、SNMP トラップ、NetFlow コレクタサーバー、および有線クライアントデータ収集の設定、デバイスをサイトに追加する、およびプラグアンドプレイ対応デバイスのプロビジョニングを参照してください。</p> |
| C9800 Day 0 オンボーディング テンプレートのサポート | <p>Cisco DNA Center PnP は、ワイヤレスデバイスのオンボーディング テンプレートをサポートしています。</p> <p>ワイヤレスまたはセンサーデバイスのプロビジョニングを参照してください。</p> |
| CAD ファイルからの壁のインポートに関する設定可能な制限 | <p>フロアマップとして使用する CAD ファイルをインポートする場合、インポートされる壁の数に制限を設定できます。この制限を設定すると、3D ヒートマップの生成にかかる時間を最小限に抑えることができます。</p> <p>CAD マップファイルを使用したフロアの追加を参照してください。</p> |
| 非ファブリック展開用 REP リングからのノードの削除 | <p>Cisco DNA Center は、非ファブリック展開 REP リングからのノードの動的な削除をサポートしています。</p> <p>非ファブリック展開用 REP リングからのノードの削除を参照してください。</p> |

| 機能 | 説明 |
|--|--|
| ワイヤレス用 CLI テンプレートの競合の検出 | <p>Cisco DNA Center は、ワイヤレス用 CLI テンプレートでの潜在的な設計の競合とランタイムの競合の検出をサポートしています。</p> <p>(注) Cisco DNA Center は Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラのランタイム競合検出はサポートしていません。</p> <p>CLI テンプレートの競合の検出、CLI テンプレートとサービス プロビジョニング インテント間の潜在的な設計競合の検出、およびCLI テンプレートのランタイム競合の検出を参照してください。</p> |
| 強化された 2D ワイヤレスヒートマップ生成 | <p>デフォルトで有効になっている 3D 計算ヒートマップジェネレータは、2D と 3D の両方のヒートマップ生成をサポートしています。3D 計算ヒートマップジェネレータを無効にして、元のヒートマップジェネレータを使用することもできますが、3D 計算ヒートマップジェネレータを使用することを推奨します。元のヒートマップジェネレータよりも大幅に高速でヒートマップを生成でき、ヒートマップ計算に含まれる壁の数に制限を設定できるため、処理速度も向上します。</p> <p>ヒートマップの概要を参照してください。</p> |
| セキュリティアドバイザー、Field Notice、およびネットワークバグ ID 機能の CX ライセンストライアルを有効にする拡張エクスペリエンス | <p>セキュリティアドバイザー、Field Notice、およびネットワークバグ ID 機能のトライアルを有効にするプロセスが強化されました。これらの機能のトライアルを開始するには、トライアルの利用規約に同意する必要があります。ただし、いずれかのトライアルで一度同意すれば、その後は他の機能のトライアルを開始できます。</p> <p>「セキュリティアドバイザー トライアルの有効化」、「Field Notice トライアルの有効化」、および「ネットワークバグ ID トライアルの有効化」を参照してください。</p> |
| シスコ ワイヤレス コントローラ 設定の処理の機能拡張 | <p>シスコ ワイヤレス コントローラの再プロビジョニング中、Cisco DNA Center は、インテントの一部ではない設定を上書きしないようにします。</p> <p>Cisco AireOS コントローラのプロビジョニングおよびCisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ のプロビジョニングを参照してください。</p> |
| ゲストワイヤレスネットワークの中央 Web 認証 SSID に対するアクセス制御リストの機能拡張 | <p>Cisco DNA Center で生成された事前認証アクセス制御リスト (ACL) は、ゲストワイヤレス ネットワークの中央 Web 認証 (CWA) SSID に設定された AAA または PSN サーバーに対してのみ作成されます。</p> <p>ゲストワイヤレス ネットワーク用の AAA サーバーの設定を参照してください。</p> |
| Cisco AireOS ワイヤレスコントローラの RF プロファイルにおける無線帯域の管理ステータスの機能拡張 | <p>Cisco AireOS ワイヤレスコントローラの場合、RF プロファイルで帯域の管理ステータスを無効にして、ワイヤレスコントローラ または AP を再プロビジョニングすると、Cisco DNA Center は、(プロファイルを [None] として設定する代わりに) 対応する帯域の RF プロファイルを作成して AP グループにマッピングし、AP で対応する帯域に関するすべての無線の管理ステータスを無効にします。</p> <p>ワイヤレス無線周波数プロファイルの作成を参照してください。</p> |

| 機能 | 説明 |
|--|--|
| ワイヤレス ネットワーク プロファイルのテンプレートの関連付けの機能拡張 | <p>ワイヤレス ネットワーク プロファイルにオンボーディングテンプレートと Day-n テンプレートを関連付けることができます。オンボーディングテンプレートは、プラグアンドプレイ (PnP) を使用してワイヤレスデバイスをオンボーディングするとき使用されます。</p> <p>ネットワークプロファイルへのテンプレートの追加およびワイヤレスまたはセンサー デバイスのプロビジョニングを参照してください。</p> |
| RF プロファイルの SSID ワークフロー、事前認証 ACL、IP ベースのアクセス契約、および RX SOP しきい値の機能拡張 | <p>Cisco DNA Center は、企業およびゲストネットワークの SSID 作成ワークフローで、認証キー管理設定、入力および出力 QoS 設定、およびワイヤレス暗号化設定をサポートしています。エンタープライズ ワイヤレス ネットワーク用 SSID の作成、ゲスト ワイヤレス ネットワークの SSID の作成、エンタープライズ ネットワークの SSID のサイトレベルのオーバーライドの設定、およびゲストネットワークの SSID に対するサイトレベルのオーバーライドの設定を参照してください。</p> <p>(注) 以前のリリースからリリース 2.3.7 にアップグレードする場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> • WPA3-Enterprise SSID の場合、Cisco DNA Center は、SSID の Dot1x-SHA256 認証キー管理設定を有効にします。 • WPA2-WPA3-Enterprise SSID の場合、Cisco DNA Center は、SSID の Dot1x 認証キー管理設定と Dot1x-SHA256 認証キー管理設定の両方を有効にします。 <p>この設定により、Cisco IOS XE リリース 17.6 以前を実行している Cisco AireOS ワイヤレスコントローラおよびワイヤレスコントローラの意図した設定が変更される可能性があります。ワイヤレスコントローラを再プロビジョニングする前に、SSID の認証キー管理設定を更新できます。</p> <p>Cisco DNA Center は、事前認証アクセス制御リストおよび IP ベースのアクセスコントロール契約で追加のプロトコルをサポートしています。認証前アクセスコントロールリストの作成およびIP ベースのアクセス コントロール契約の作成を参照してください。</p> <p>Cisco DNA Center は、[RX-SOP Threshold (dBm) Custom Value] フィールドを使用して、基本および AI RF プロファイルの各帯域のカスタム Receiver Start of Packet Detection (RX-SOP) しきい値をサポートしています。ワイヤレス無線周波数プロファイルの作成およびAI 無線周波数プロファイルの作成を参照してください。</p> |
| SD-Access の新しい自動化 | <p>強化された Cisco SD-Access のユーザーインターフェイスでは、ファブリック要素と要素の属性の簡潔なビューが表示されます。</p> <p>「SD-Access の新しい自動化」を参照してください。</p> |
| インベントリの再同期のインサイト | <p>インベントリ内の最後の同期開始時刻と最後の同期の原因を確認できます。</p> <p>インベントリに関する情報の表示を参照してください。</p> |

| 機能 | 説明 |
|--|--|
| 双方向互換性マトリックスの比較に対するソフトウェアイメージ管理 (SWIM) の拡張サポート | <p>Cisco DNA Center SWIM は、In-Service Software Upgrade (ISSU) の互換性に関する意思決定を改善するために、双方向互換性マトリックスファイルの比較を実行します。</p> <p>Cisco DNA Center は、cisco.com で入手可能な ISSU 対応デバイスの実行イメージとゴールデンタグ付きイメージの互換性マトリックスファイルを自動的にダウンロードできます。</p> <p>ISSU 互換性マトリックスのインポートを参照してください。</p> |
| AS パスプリペンドのサポート | <p>AS パスプリペンドを変更することで、SD-Access ファブリックの入力ボーダーの選択を操作できます。BGP AS_PATH リストに付加される AS パスの数を定義できます。</p> <p>「ボーダーノードとしてのデバイスの追加」を参照してください。</p> |
| AP 更新ワークフローで交換ステータスを追跡するための手動データ更新のサポート | <p>[Access Point Refresh] ワークフローでは、最新の AP 交換ステータスを表示するには、[Refresh Data] オプションを使用します。</p> <p>(注) このリリースでは、Cisco DNA Center はデータを自動的に更新しません。</p> <p>AP 更新ワークフローを参照してください。</p> |
| 2D ヒートマップでの稼働中の AP および計画済み AP のサポート | <p>稼働中の AP と計画済み AP の両方を示すカバレッジヒートマップを 2D で表示できます。このオプションは、3D 計算ヒートマップジェネレータが有効になっている場合 (デフォルト設定) にのみ使用できます。3D 計算ヒートマップジェネレータを無効にすると、2D ヒートマップは元のヒートマップジェネレータに戻り、稼働中の AP または計画済み AP のヒートマップのみ表示され、両方は同時に表示されません。</p> <p>2D マップビューオプションを参照してください。</p> |
| 追加の WLAN パラメータのサポート | <p>Cisco DNA Center は、高度な SSID モデル構成設計の追加の WLAN パラメータをサポートしています。エンタープライズ ネットワークとゲストネットワークの SSID 作成ワークフローは、高度な SSID モデル構成設計の選択をサポートしています。</p> <p>高度な SSID のモデル設定設計の作成、エンタープライズ ワイヤレス ネットワーク用 SSID の作成、およびゲスト ワイヤレス ネットワークの SSID の作成を参照してください。</p> |
| 解決された IP アドレスのツールチップ | <p>デバイスの解決された IP アドレスは、[IP Address] 列で確認できます。</p> <p>インベントリに関する情報の表示を参照してください。</p> |

| 機能 | 説明 |
|---|--|
| [Design] > [Network Settings] > [Network] ウィンドウのユーザーインターフェイスの更新 | <p>[Network Settings] > [Network] ウィンドウが更新され、ユーザー体験が向上しました。</p> <p>Cisco ISE またはその他の AAA サーバーの追加、グローバル ネットワーク サーバーの設定、およびサイトへのイメージ配信サーバの追加を参照してください。</p> |
| Cisco DNA Center を明るい外観または暗い外観で表示する | <p>Cisco DNA Center は、明るい外観（デフォルト）または暗い外観で表示できます。[My Profile and Settings] > [Display Settings] ウィンドウで、明るい外観または暗い外観を適用できます。</p> <p>Catalyst Center における明暗の外観の適用を参照してください。</p> |
| コンプライアンス修復の可視性と制御 | <p>コンプライアンス違反を修正する際に、計画したネットワーク構成を IT サービス管理（ITSM）に送信して、展開前に承認を受けることができます。</p> <p>コンプライアンス違反の修正を参照してください。</p> |
| 構成の可視化と制御 | <p>拡張制御を使用すると、計画したネットワーク構成を ITSM に送信して、展開前に承認を受けることができます。制御することで、認証および承認された構成のみがネットワークデバイスにプロビジョニングされるため、デバイスのセキュリティが強化されます。</p> <p>構成ワークフローの可視化と制御を参照してください。</p> |
| ワイヤレスデバイス構成の可視性と制御 | <p>Cisco DNA Center は、ワイヤレスデバイス構成の拡張制御をサポートしています。強化された制御を使用すると、IT サービス管理（ITSM）チェックを通じて、認証および承認された構成のみをネットワークデバイスにプロビジョニングできます。</p> <p>デフォルトでは、[Configuration Preview] は有効になっており、[ITSM Approval] は無効になっています。これらの設定は、[System] > [Settings] > [Visibility and Control of Configurations] ウィンドウで更新できます。</p> <p>（注） 計画したネットワーク構成を展開するときに競合する操作が存在する場合、[Pending Operations] ダイアログボックスが表示されます。現在の展開を続行するには、既存、スケジュール済み、またはレビュー保留の操作が完了するまで待つか、この操作を破棄する必要があります。</p> <p>ワイヤレスデバイス構成の可視性と制御、Cisco AireOS コントローラのプロビジョニング、シスコ製 AP のプロビジョニング : Day 1 AP プロビジョニング、Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ のプロビジョニング、Catalyst Center での AP 設定、モビリティグループの設定、リモート LAN の設定、および IP ベースおよび URL ベースのアクセス コントロール ポリシーを作成するを参照してください。</p> |

| 機能 | 説明 |
|------------------------------------|--|
| ファブリック構成の可視化と制御 | <p>制御機能を使用すると、計画したファブリック構成を ITSM に送信して、ファブリックデバイスに展開する前に承認を受けることができます。</p> <p>すべてのファブリックワークフローと構成で、可視性と制御機能がサポートされています。</p> <p>「ファブリック構成の可視化と制御」を参照してください。</p> |
| SD-Access ファブリックのワイヤレスメッシュアクセスポイント | <p>Cisco DNA Center 2.3.7以降、SD-Access ファブリックでワイヤレスメッシュ AP をオンボードできます。メッシュ AP は、ネットワーク要件に応じて、メッシュアクセスポイント (MAP) またはルートアクセスポイント (RAP) としてプロビジョニングできます。</p> |

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。